

令和7年度 地域連携推進会議議事録

日 時 令和8年2月11日（水）10：30～11：30

場 所 社会福祉法人明光会 集会室
ルーチェ仰陽・ファミリーユさんあい

出席者 佐藤操様奥様（慈悲尾自治会副会長）
安本智博様（慈悲尾自治会会計）
井口ゆり様（渚司法書士法人）
市川愛琴様・萩原とみ様・萩原よしみ様（保護者）
小川寿美様・山本ヒロコ様・遠山淳様（利用者）
寺田亮一（ルーチェ仰陽施設長）
吉澤洋子（ファミリーユさんあい所長）
渡邊博代（生活支援係長）
梶山寛治（就労支援係長）
渡邊夕見子（ファミリーユさんあいサービス管理責任者）
川村真由美（ルーチェ仰陽サービス管理責任者）
菅愛美（ファミリーユさんあい世話人）

内 容

【開会・諸注意（吉澤）】

- ・本日の会議は、施設と地域の連携や利用者と地域の関係づくりを目的としている。ぜひ、皆様の日ごろの思いやご意見を自由に発言していただきたい。
- ・本日の会議で知り得た個人情報等については、外部に漏らすことがないようにご配慮いただきたい。
- ・会議終了後に議事録を作成し、公表することが義務付けられている。当事業所では、法人ホームページなどで公表する予定。

【施設長挨拶（寺田）】

- ・慈悲尾とは設立当初から連携をとっている。地域共生ということもあり、改めて、今回のような連絡会を開催することとなった。地元の人にも知っていただき、ご意見をいただきたい。
- ・慈悲尾は明光会発祥の地。今回、地元の方などにお集まりいただいたことで、改めて、設立当初の思いもよみがえってきている。

【出席者紹介（吉澤）】

【施設概要説明】

○ルーチェ仰陽（川村）

- ・指定障害者支援施設であるルーチェ仰陽では、施設入所支援の他、短期入所、日中一時支援事業も行っている。
- ・支援内容としては、食事・排泄など身辺面においての生活支援、日中活動や生活行事、外出といった余暇支援、陶芸・織物・絵画・茶道・ペーパークラフトといったクラブ活動、日ごろの健康チェックの他、嘱託医 看護師による健康管理、体力づくり、管理栄養士による栄養管理といった支援を行っている。
- ・定員 27 名。20 代から 70 代の方が利用しており、平均 49.3 歳。
- ・日課や行事の紹介（パワーポイント使用）。

○ファミリーユさんあい（渡辺）

- ・グループホーム ファミリーユさんあいには本部慈悲尾と大岩本町と 2 つの拠点があり、住居数は慈悲尾 8 棟・大岩本町 3 棟となる。
- ・定員は慈悲尾 37 名・大岩本町 23 名合わせて 60 名となるが、現在入居されているご利用者様は 47 名。
- ・建物については、慈悲尾は 1 階建ての平屋、大岩本町は 2 階建てとなっており、大岩本町の光館については、部屋にトイレが完備されている。
- ・職員数は男性 4 名・女生 12 名の 16 名。
- ・ご利用者様の日中の過ごし方は、事業所へ通所される方、お仕事に行かれる方と様々。利用者様同士の交流会や余暇活動として計画を立て季節ごと外出を行っている。
- ・大岩本町では、地域の防災訓練、城北公園の清掃、側溝清掃、パターゴルフ大会など地域の行事へ積極的に参加をするようにしている。
- ・ご利用者様が安全で安心して生活を送ることができるように支援を行っている。

【意見交換】

○環境・設備について

- ・初めて中に入っているいろいろ見せていただき、きれいなことに驚いた（佐藤）
- ・こんな広かったかな、というイメージ。職員も大変だと思う。スプリンクラーの設置はどうなっているのか（安本）
- ・設置できている。消防法にも定められている（梶山）
- ・防犯対策はどうなっているのか（安本）
- ・防犯カメラ、セコム、ココセコムの導入。年に 1 回中央署の警察官を招いて、防犯訓練も実施し、職員、利用者ともに意識できるようにしている（梶山）
- ・外で遊べる環境（遊具、中庭）があるのがよい（井口）
- ・施設の中は安全で、きれいで安心した（市川）

○利用者の様子

- ・幼少期、学校に通うときに、ブロック塀越しに生徒（利用者）さんがよくこちらを見ていた。純粋な目をしていて印象がある。世間にもまれることもなく、変わらないと感じた（安本）
- ・年齢層が幅広く、障害程度もいろいろあると感じた（井口）

○職員の対応について

- ・職員、生徒（利用者）がみんなで一生懸命取り組んでいると感心した（佐藤）
- ・職員の言葉も丁寧で感心した（市川）

○感想・ご意見

- ・これからも頑張ってください（佐藤）
- ・明光会は設立65年ということで、同い年。運命を感じる。9月には服織学区の運動会への参加、10月には慈悲会の敬老会で和太鼓を披露してもらい、いつも感動している。これからも参加をお願いしたい（安本）
- ・旅行も再開し、楽しみが増えていけるとよい（井口）
- ・グループホームのネームプレート（お部屋の名前）が、みんな同じなので、人によってはかわいく飾ったり、個性が出たりするとよいと感じた（井口）

【最後に】

- ・地域の方に施設を知ってもらえるよい機会となった。
- ・参加者の方に、多くのご意見をいただくことができたので、この意見をもとに、より利用者の生活の質があがるよう取り組んでいきたい。